いわき民報
登録
社　電381・176
所　原田
行　民報社
印刷人　き印わ
発行所　48
発行人　わき民報
編集人　平市い

タカス
飛摩104
銀1104
市平電

本社主催 短歌大會
一等に諸橋氏、盛會裡に終る

本社主催第二回綜合文化祭の終幕をかざる七夕短歌會は二十一日午後一時より地元歌人三十余名出席新婁久蘭先生司會で本社ホールに開かれた野溜本社社長挨拶あり兼題「七夕（星まつり）」「夏雜詠」應募作品九十八首について互選の結果左記各氏が入賞、賞品授與を行つたが好評古河

▽一等、諸橋鈴司（平）
▽二等、國玉喜輝（平）
▽三等、熊谷眞一（好間）
▽四等、星　正吾（好間）
▽五等、千葉光一（好間）
なお佳作として
▽天、池上富司（平）
▽地、佐藤正志（好間）
▽人、矢内皆水（好間）

が特に賞品を贈られた當日の晝點直左の通り

【七夕】
○天の川更ける熊土の一隅に流民の母子經營のぼしいる　（好間）明智栢舟
○癒えそめし母に寄りそひ窓に立ち　一束白き天の川見る　（好間）駒峰重世
○かにかくに戰の傷み遲のきて七夕祝う街の歡び　（平）國玉喜輝
○吾子ゆえにささやかなれど七夕のかざりの竹を門べに立てつ　（平）山村楓花
○人通り少くなりてわが耳に七夕竹の葉擦れ聞ゆる　（好間）熊谷眞一

【夏雜詠】
○濱茄子のうら擦す枯れし丘のさばる毛虫のやわきうごめき　（平）池上富司
○聞えくる機太鼓に立居する妻に五人の母とは見えず　（好間）矢内皆水
○棄渡れ陽の眼にいたきブラタナスに　（好間）佐藤正志
○歩みゆくキャブランプの輪の中にしづくの光る朝羽見ゆるも　（好間）千葉光一
○幼きのお馬となるも樂けれ鏡に向ひいななかねばならぬ　（好間）佐藤正志

本縣が二年連勝成る
一位は岩手、庭球大會終る

東北六縣對抗軟式庭球大會は二十、二十一の二日間ご亘り市營コートに開催、各縣代表の名譽を賭けた熱戰の結果、男子高校、女子一般（二十一日）男子一般、壯年（二十一日）の九種目の綜合成績に於て第一位が男子高校女子一般、壯年の三種目に優勝した福島縣これで同縣は綜合得點で三年連勝したわけである、第一位は男子一般に優勝した岩手縣、第三位に女子高校が優勝した秋田縣第四位青森縣第五位山形縣第六位宮城縣の順序で大會終日の二十一日は男子一般戰に縣代表と岩手縣代表の間に文字通り伯仲戰を展開、前半戰に優勢を示した、縣代表にいどむ岩手縣代表の强じゅんな肉迫振りは大會に一異彩をはなち觀客を燃ようさせ熄仕組に午後七時五十分終了、大會優勝旗、カップ賞品賞狀等の授與式が行われ、滿場拍手の中に大會の幕を閉じた

▽男子一般
福島　3－0　宮城
山形　3－2　秋田
岩手　3－2　青森
青森　3－2　宮城
岩手　3－2　秋田
青森　3－1　秋田
福島　3－0　山形
宮城　3－0　山形
岩手　3－2　山形
青森　3－1　山形
福島　3－0　青森
福島　3－0　宮城
福島　3－1　秋田
宮城　3－1　秋田
福島　3－0　秋田
青森　3－0　秋田
岩手　3－0　山形
青森　3－1　秋田
岩手　3－1　宮城
◇決戰
福島　3－0　宮城
青森　3－2　岩手
◇優勝決定戰
（福島）3－0（青森）

庄司　4－0　石上
長崎　4－1　篠原
熊谷　1－4　宮川齊藤
石井　1－4　宮川齊藤
鈴木　4－3　小川志賀
藤澤　4－3　志賀
鈴木　4－3　宮川齊藤
藤澤　4－3　齊藤

▽壯年
福島　3－0　宮城
青森　3－1　岩手
秋田　3－2　岩手
福島　3－1　秋田
宮城　3－2　岩手
青森　3－0　秋田
宮城　3－0　秋田
青森　3－0　宮城
◇優勝決定戰
（福島）3－1（青森）
國部　4－0　木村
奥津　4－0　松本
大内　1－4　坂下
木幡　1－4　野呂
長尾　4－3　齊藤
翁口　4－3　多田
翁部　4－2　坂本
奥津　4－2　野呂

女子一般
岩手　3－2　秋田
福島　3－1　秋田
福島　3－1　青森
◇決戰
福島　3－1　青森
千葉　4－0　安田
大門　4－0　成田
高木　3－4　竹内
若松　3－4　小山
渡邊　4－1　池田
松本　4－1　鄰來

松枝　1－0　須藤
楯山　1－0　木村
高橋　3－4　須藤
黒澤　3－4　木村

女子一般
岩手　3－2　秋田
福島　3－1　秋田
福島　3－1　青森
◇決戰
福島　3－1　青森
千葉　4－0　安田
大門　4－0　成田
高木　3－4　竹内
若松　3－4　小山
渡邊　4－1　池田
松本　4－1　鄰來

千葉　4－1　竹内
大門　4－1　小山

女子石炭局、男子は亂炭優勝
全國勞組バレー大會豫選

全國勞働組合バレー大會平方部豫選は一十日午後九時から東部石炭協會グランドに開き、女子

【男子組】
日本水曹0－2吳羽化學
平石炭局、男子組で配炭公團が快勝した、福島縣豫選は九月三、四の兩日福島市で催される成績次の通り
◇準決勝
日本水曹2－0平稅務署
平稅務署2－0四倉セメント
常磐炭礦2－0好間炭礦

【女子組】
好間炭礦0－1平石炭局
日本水曹2－0東部石炭協會
◇決戰
平石炭局2－0日本水曹

總同盟縣連理事會

總同盟第十二回縣連合會理事會は二十日午前十時半から平市勞働會館に開き常磐地方各界位組合理事三十名出席、議長による縣炭勞東部支部情宣部長が進され、總同盟中央委員會、縣勞協との懇談會等の一般報告があり議事に入り規約改正として

勞働組合法改正による社內組合としての規約修正、業務執行の實際的なものを明文化することにし九月上旬の縣連臨時大會で決定することにきめ、八月一日新設置した、福島縣產業再建共斗會議の合法的斗爭、組合運動と產業再建の直結化等總同盟の主體となる共斗會議の再確認を行い、勞働銀行事業活動、經濟獨立運動その他に就き協議した

矢鄕の伊達任意出頭
逮捕總數百五十名

平搜査本部では二十一日午後所を逮捕した、これで二十二日正午現在までの逮捕者總數四時臨事件開始以來逃走中の內鄕町大字白水元矢鄕炭礦採炭夫伊達重春が任意出頭した

鮫川橋畔五色て彩る
工事前渡金百五十萬圓
あす市會提出議案の內容

植田町及び錦、山田、勿來など四カ町村有志の主催になる萬國陣沒者並に鮫川犧牲となつた多くの人びとを追善供養する花火大會は既報の如く、二十五日午後五時から鮫川橋畔（植田寄り）で盛大に擧行されるが、この花火大會には十五万円の經費が投じられ一發七千円という大仕掛花火三發を始め、早打三發、尺玉三發、五寸玉三十五發、四寸玉二十五發の外、兩國の川開きを思わせる地方空前の花火數百四十數發、十二時頃まで引續き打上げられ、近郷の觀覽者で雜踏を豫想されているため、常磐交通は時間を延長してバスを運轉、主催者から臨時列車の申請も行つている

地方空前の花火大會

大會で、華麗な五彩に川面を照し、觀衆に涼味を滿喫させることであらう

平市の八月定例市會は二十三日午後二時より公會堂に開くが今度の主な議案は千九百二十二万四十六円の追加豫算で款項別に見る歲出は

△役所費五二〇、二七五円△警察消防費七一〇、〇〇〇円△土木費一、九七〇、〇〇〇円（うち玉町地內道路改修費四七〇、〇〇〇円新川改修工事費擔金一、五〇〇、〇〇〇円△社會及び勞働施設費七、一二七、五二四円△產業經濟費一、五七四、〇〇〇円（うち災害溜池復舊費三〇六、〇〇〇円、林道開設費六八〇、〇〇〇円）△都市計畫事業費一、六八五、〇六五円△財產費六、五〇二円△選擧費一五、六八〇円△諸支出金四〇〇、〇〇〇円△豫備費四〇〇、〇〇〇円

また特別會計の水道事業追加豫算は八十六万円を計上、ろ過池二池の修繕などを行うほか同じ特別會計で國民健康保險事業費に四百三十七万七千三百九十五円を計上している

また平第二、第三兩中學校の建築工事請負金中百五十万円以內を前渡することを決める工事請負金の前渡に關する件も上程する、提出議案次の通り

△二十四年度歲入歲出追加豫算△證紙課設條例改正の件△手數料條例改正の件△市役所廳舍建築設計變更の件及び支出方法變更の件△職員恩給條例臨時特例設定の件△恩給條例臨時特例設定の件△二十四年度特別會計水道事業設置歲入歲出追加豫算△二十四年度特別會計國民健康保險事業設置歲入歲出追加豫算△國民健康保險條例改正の件△議會の議決を經べき事項に關する條例設定の件△職員定數條例設定の件△平市國民健康保險組合の財產及び債權債務引受に關する件△工事請負金の前渡に關する件

民報論壇
市政批判公聽會を聽け

野澤武藏

二十四日夜七時から平第三小學校に於て市政懇談會即ち市政に對する全市民の批判公聽會が開催される。吾等三万五千市民の台所を司り、あらゆる政治面を擔當する市當局並に市議會がどんな仕事をしているか、市民は直接觸れる機會が殆んど皆無であるから、今回の催しは得難いチャンスである。兩迷固ろうな鈴木市長が自發的にこの催しを發議したものであつたら那邊の辭を惜しまないのだが、他村に中學校を二ツも作るというのに、市民に意見も聞かず、納得もさせない市長のことであるから、今回の計畫も自發的でなく他動的に開くわけである。明るい政治を行うには率直に民意に問い、意志を表示すべきであり、今後もこの種の公聽會を機會ある毎に開催されんことを切望する

もつとも遺憾なことは、平市民が市政に對する關心が薄いことである。どんな重要な問題を附議する市會でも傍聽者は殆んど皆無だ市民が選んだ市長であり選良議員であるからすべてを信賴し、あなた任せというのならまだよいが「どうにもならん」とあきらめが先に立ち、權利を放棄するのが實體であるまいか。吾等市民は市役所及びすべてを賄う稅金を拂うのであるから、この稅金が果して公正に運用されているか、全体の利益に添うているかを監視する必要があるのである若し意に添わない行爲があるとすれば、堂々とダンガイすることも許されている

鈴木市政誕二年四カ月戰後の復興を目ざす平市にとつては重要な時間であつた市民にとつて良いこともやつたであらう。然しそれは當然のことであり、惡政の方がより多いことは認めざるを得ないのは遺憾に堪えない。目立つものを個條書に並べて見ると次のものが數えられる

◎市役所の寄附金問題
一、一日一円貯金と稱し、市の能吏員である世話人を通じて劃一的に寄附を要求した、强制會の方式に同じ二、同じく市議總動員で特別寄附を行つている（次官通牒に違反）
◎丸公市場を擴張
十萬円の寄附金をフイにし市民に損害を與えた
◎第一小學校不正工事
一、神中組その他擴張、社會を騷した罪は大
二、第二期工事で鐵球土建事を認めながら、これは取ツを生ぜしめた
二、新消防署長選任に當つて市條令を無視し、不適格者を任命した
◎平市營古機事件
考査委員會への答辯に誠意を認められず
以上の項目は大ざつぱなものである恐らく全市民はまだまだ非政を知つていると思うから、全市民擧げて出席し、市政を批判し悪い點は是正させるべきであらう

矢鄕勞組再び借入交涉

休山その後の矢鄕炭礦勞組では二十日午後五時から山元に矢鄕社長と炭勞東部支部道圖

また破藏
衣類盜まる

四倉町大字本町柏屋こと小濱正（三八）さん方では二十日土藏が破られ衣類三十四點（時價八萬円相當）盜まれ

勞働法規全書

第五國會改正版　250円

岩波現代文庫　岩波日本文學小辭典　岩波哲學小辭典　増訂版　出版部　書籍

友 マルトモ

登呂遺蹟見學記（中）

史談會員　鈴木光四郎

杉原明大教授の現地說明

明大教授杉原荒介氏は吾々一行を迎え次のように詳細な說明をして下さった。

登呂遺蹟は彌生式文化の代表的な遺蹟で日本民族の米食時代農耕文化の上に日本歷史が打ち立てられていることを證明している。伊勢灣から西に彌生式文化の母体があり、彌生式文化は九州から伊勢灣迄に發達した。登呂の東部の有東に先づ文化の花が咲き農業が起り村落が形成されたのが登呂である。今から二千年前頃のことである。

登呂の重要性は木製品木器が腐敗しなかつたことである砂漠地や地下水で洗われる所では木製品が殘ることが多い住居が木製であつたこと耕作地は濕地を利用したこと、畦を木で造つたことなど想像以上のものが殘つている。南方松林の海岸砂丘と西方安倍川の運んだ土砂に包まれて沼地が造られた。耕作の附近に住居を作つたのも自然で竪穴のように土堤を高くしてその上に隨円形の住居を造つたものである。古代に於ては農業、牧畜經濟の上に國家が建てられたのである。今迄の考古學研究のように一つの據とか古本の柱の中央に爐があり柱の根本に礎板が置かれてある。當時は鐵器時代に屬しているが鐵器は殘らず形の切り方から想像されるのである。石器は少いが木器としては鍬スキなどが殘つているが濕潤地であるから木器で用をはたしたのである。田下駄が殘つていることから水田が深かつたことがわかるのである。發火器、弓、木製劍、青銅腕環ガラスのビーズ玉、曲玉などは農民の裝飾品と思われるのである。

家と家との間が狹く倉庫らしいものが發見されないが或は共同所有の時代ではなかつたろうか、大家族制か原始共産社會であつたかに就いては今後の研究發掘によつて決定されるのである。遺蹟の南方の田の中に年輪三百年位の大杉の根株が枯れて殘つているが當時の防風林の役割をはたしたものである。

住居跡の計測

住居跡は大きいものは縱十一米三十橫十米八十、小さいものは縱七米七十橫六米七十の小判形をなしている。柱の土に埋れた部分は三十八センチ柱の幅三十三センチ、土台の幅一米四十八、爐の直經八十から九十センチ、火のあつた所は三十センチ、土台の高さは四十八センチである。

畦畔遺蹟

住居遺蹟の東南方の畑地で資源局研究所の和島誠一氏を中心として畦畔遺蹟の發掘が行われていた元の田より一米位の下部に殘つて居り五センチから十センチ位の間隔に杉の杭が打ち込まれている。深田であつたから土をもたせるために用いられたものである中央には通水路のあとが殘つている。私達が見學していた折、登呂の農民が用いたざるが黑い粘土質の中で發見されその出土作業が續けられていた。

後藤明大教授の現地解說

八月十一日夕、後藤先生は約一時間にわたつて詳細に說明して下さつた。

登呂は小字である。もと富士見川原とも云つた。住友工場が建てられた折、土台を高くするため有度山の土を運んで來たそれでも不足なので附近の田の土を掘り上げた處木棚や田舟が發見されたのである。この遺蹟は四度重なり合つているが最後の住居跡の面には何も殘つていないのは東日本の住居遺蹟の例外であろう二十三年度には曲玉や管も出たが登呂の人々が除除と移轉したことがわかるのである。移轉の理由は安倍川の洪水說や砂丘の潟の擴大說などがあるが洪水說が有力である。又登呂の部落構成は奈良時代の文獻に見える鄕古制度に關連あるのではないかと思われるのである。

有東遺蹟にて土器採集

八月十三日朝、有東遺蹟を訪ねた。東に有度山、西に有東山が連り、このあたりも古代に於ては安倍川が流れ附近一帶は沼地であつた。戰時中米測量飛行中事故で一時行方不明となる、サンドラはマギーを訪ねビートの子供の母となると告げるのでマギーは彼女を引取り出產をすませその子をビートと名付け育てる、奇蹟的にビートが生還するとサンドラはマギーに一切を告白させるがビートの態度は變らない、サンドラは二人の手に子供を殘して身をひくベテイ・デーヴイスとジョージ・ブレントの名コンビの女性映畫W・B社作品

龍宮から歸つた浦島太郎（川路一）は元いた村も家もなく古里はネオン輝く博覽會の眞最中で太郎は相手にされず玉手箱もすてられる、町長の娘アン子（市木）は太郎を救うが許婚のカツ男（關）はヤキモチを燒いてワカメ（柏）と踊り狂う、突如アン子が姿を消すがそれは河童大將九千坊（大辻）が浚つていつたものとわかり太郎とカツ男は救助に行くが逆に火あぶりにされそうになる乙姬さま（奈良）は玉手箱を取替に來て事件を知り九千坊と腕比べの結果乙姬さまが勝ちカツ男とアン子は結ばれ太郎は乙姬さまと共に龍宮城へ歸る、佐々木康監督松竹歌劇明日演のオペレッタ映畫

闇物價値下りの傾向

十五日現在　會議所の調査

働く婦人の福し增進運動がすぎて二週間―さて皆樣の職場では以前に比べていくらかでも向上のあとがみられるでしようか、私達が職場での地位を高めることは勇氣をもつた改善とそれに增して自分達の職場をよく理解することでしよう、この意味で郡下の婦人の職業についてしらべてみました、整理された女らしさで積極に男性の圈内に進出しましよう

働く婦人の職業實態

地位向上に努めませう

★郡下の婦人總數十六万一千六百名中終戰後の有職者が三万四千七百名で現在は三万六千余名と增加している

★增加の理由はインフレ下の生活事情と戰事中の『皆働』といつた事から社會一般の目がいわゆる職業婦人視しなくなつたこと

どんな職場に

★郡下六月末現在は農業二万六千四百名、鑛、工業六千五百名、商業百四十名、敎員八百名、醫業百二十名、料飮食旅館百八十名官公吏百七十名、與行三十名、その他三百八十名、

★自家農業が斷然多くハマとヤマの關係から內職的にそれに從事するものもある

どうして働くか

★經濟的理由からが八十%を示している、インフレによる經濟不安定すなわち家計の補助、と一家を養う爲の切實なもの、又經濟的に獨立すべきだと基本的な思想にめざめているもの

★結婚までの社會見學、ふらくしてての腰かけ主義、出來れば一生續けたいが環境が許さないというもの十三%になつている

職場と家庭

★兩立出來ないという六十%、理由は生活のすべての條件も惡く封建制の根強いその中で家庭婦人としての重貸と職業の二重貸擔は當てい出來ない

★併し健康で叡智な女性ならば家庭の仕事を家人が分業して家事を趣味に生かしたら苦でない、これからたく兒所や保育所の施設は是非必要である

賃金の問題

★法律上は男女同一賃金が勞基法によつて定められていま

★併し今までは1、能率がわるく知能が低いものとされていたこと2、勤續年數が短く熟練や責任ある地位についている者が稀であつた3、自ら卑下していたことなどで差が生じ初任給は同じでも昇給が女性はおそいという矛盾あります

勞基法實行程度

★イ、勞働時間は一日八時間で一週四十八時間ロ深夜業坑內勞働ハ、産前産後の休業育兒時間などは大体よく守られている

★守られないものはイ、生理休暇（只し支障がない職場にいる場合、社でそれに對應策をとつてくれる場合は出勤すべき）とロ、差別待遇でそれの理由として分担して女子の職業の副作業的なことを強いない、悪い環境を甘んじて受けるところに女性の封建的な弱さがある

★地位向上の法規も適應されて來る二十四日から八日間左記の如く第一班（關野林務課長吉野技師）第二班（岡田、山崎兩技師）に分れて森林組合運營再檢討協議會を開く

▽二十五日、入遠野、渡邊▽二十六日、上下小川、磐崎▽二十七日、赤井、江名▽二十八日、植田、釜間▽二十九日、山田、鹿島▽三十日、勿來、好間▽三十一日、川部、大野

十九日午前中に行われた衆議院考査委の鈴木市長に對する證人訊問は民自黨と共產黨との激しい應酬に國會そのままの樣相を呈したがその應酬の最中證人の鈴木市長ついロがすべつてか共產黨の鬱憤委員に對し『君キミ―』と大聲、これを耳にした總務委員長代理の注意で一應けり、傍で聽いていた、記者連下を見て『クスリ』とは訊問中のエピソード、今一つ、當の鈴木市長方言丸出しの答辯には百戰練磨の速記者連中も時々閉口したらしく市長の口元を眺めていることが屢、これには傍にいた記者も一寸冷汗をかきました

荒廢山林の復興へ

廿四日から組合運營協議會

石城地方事務所では管下の山林荒廢が甚だしいので終戰後強化し組合の活動を復活させ全く消沈していた森林組合を近く實施する豫定

岩佐博士ら溫泉源調査

日本電氣探鑛株式會社專務岩佐工學博士、日本石炭協會生產部の林治一氏の兩名は去る十五日東部石炭協會の斡旋で常磐炭田の溫泉性の調査のため常磐、好間、日曹赤井炭鑛を中心に十八日迄の四日間に亘り、溫泉根源、分布狀態の綜合的基礎調査を行つたが十九日歸京、第二回調査も近く實施する豫定

映畫

男氣人姿旅

寶東

劇場主濱田は廊長の大櫻（正式に結婚する、ピートは南大河內）に警察の目をごまかしても大太刀廻りをしてくれという、下ツ端の半ピン（エノケン）に矢理に化粧させて舞台へ出すが廊長に反對の一派は引込んでしまうそこで廊長と半ピンの二人だけの全幕早替りの狂言が行われる、綸本太功記、八百屋お七、國定忠治丹下左膳、金色夜叉など…その夜のさくら（宮川）を口說く廊長、半ピンと戀人トミ子（浦旭）の愉しい踊、翌日反對派は半ピンの除名を決議するが廊長は承知しない、形勢不利の反對派の佐久間は一座の金を持つてにげるが後悔して歸つてくる　さくらは廊長の爲に一座を去り廊長は一座をピンにまかせて去る、幾月後舞台に立つ半ピンとトミ子を客席の後で大櫻が涙をおさえてみている、脚本保原作、渡邊邦男監督の異色ドラマ

飛行家ビートはピアニストのサンドラの取持で結婚祝のパーティで醉つてサンドラと結婚するが彼にはマギーという戀人がある、マギーはそれを知りつれなくするがサンドラが結婚に熱心でない事を聞き正式に結婚する、ピートは南米測量飛行中事故で一時行方不明となる、サンドラはマギーを訪ねビートの子供の母となると告げるのでマギーは彼女を引取り出產をすませその子をビートと名付け育てる、奇蹟的にビートが生還するとサンドラはマギーに一切を告白させるがビートの態度は變らない、サンドラは二人の手に子供を殘して身をひくベテイ・デーヴイスとジョージ・ブレントの名コンビの女性映畫W・B社作品

踊る龍宮城

館

龍宮から歸つた浦島太郎（川路一）は元いた村も家もなく古里はネオン輝く博覽會の眞最中で太郎は相手にされず玉手箱もすてられる、町長の娘アン子（市木）は太郎を救うが許婚のカツ男（關）はヤキモチを燒いてワカメ（柏）と踊り狂う、突如アン子が姿を消すがそれは河童大將九千坊（大辻）が浚つていつたものとわかり太郎とカツ男は救助に行くが逆に火あぶりにされそうになる乙姬さま（奈良）は玉手箱を取替に來て事件を知り九千坊と腕比べの結果乙姬さまが勝ちカツ男とアン子は結ばれ太郎は乙姬さまと共に龍宮城へ歸る、佐々木康監督松竹歌劇明日演のオペレッタ映畫

25日マデ
嘘な偉大
聚樂館
飛行家ビートはピアニストのサンドラの結婚祝のパーティで醉つてサンドラと結婚するが彼にはマギーという戀人がある、マギーはそれを

偉大な嘘
ベーティデーヴィス
オジョージ　ブレント
トリ
ウオーナーブラザース映畫特作
『愛の勝利』の名歌！
女性讃歌描く
二十五日まで
二十三日より
涼しい映畫館
聚樂館

二十三日より
平館
踊る龍宮城
日守新一　大坂志郎
大辻司　櫻尾泥海男
益田隆　宮城ひばり
のらくらコンビ
岸井明　森川信
松竹歌劇團總出演
華麗な龍宮城を背景に
水中撮影に呼ぶ時間の大作!!
2マン
川路龍子　小唄ゆり子
奈良光枝　島昇
並木路子
生生しい暗黑街の轉落記錄
防犯映畫
地獄の門
2卷同時上映

男氣人姿旅
珍優名優
エノケン　大河內傳次郎
3日より
旅役者の二人組
2早變り狂言
取揃えまして
「劇中劇」の數々を
相勤め申候。
口上　榎本健一
東西々々……
罷り出でたる
中村平八郎　北村武夫
しまし　宮川レイ子
鬱り　旭輝子
に腦　田中春男
繼お　皆を
願　瀨恒美
涙す
大河內傳次郎
全米水上大會ニュース
特報!!第一報
△同時上映▽
東宝
平東宝